

北極ツーリズム・クルーズ国際ワークショップ

持続可能な北極・北方ツーリズムとクルーズ:

最近の傾向、可能性、および課題

2019年11月29日(金) 12:00-18:00

北海道大学創成科学研究機構5F大会議室 (札幌市北区北21西10)

言語: 英語、一部日本語

11:30 受付開始

12:00 開会の辞: 北海道大学 北極域研究センター センター長 深町 康

趣旨説明: 北海道大学 北極域研究センター 特任教授 田中 雅人

12:15 - 13:15 セッション1: 北極および北方ツーリズムの発展

ヨハン・エーデルハイム、北海道大学: 「北極圏の観光: 最近の傾向、新しい可能性、新たな問題」

福山貴史、北海道大学: 「雪氷観光」創造が地球温暖化時代に果たしうる役割、その可能性と課題

13:15 - 15:00 セッション2: 北極ツーリズム

ブルックス・カイザー、南デンマーク大学: 「北極圏および亜北極圏のクルージングにおける協力と競争: 代替可能な寄港地に関するコミュニティと持続可能性の懸念」

クリス・ホーベル、南デンマーク大学: 「北極圏の海洋観光におけるリスクテイク: ピークシーズンとオフピークシーズンの狭間、コミュニティと能力、独自性」

ステファン・キルヒナー、ラップランド大学: 「北極クルーズに関する法的小および環境問題」

15:00 コーヒーブレイク

15:15 - 17:35 セッション3: アークティッククルーズツーリズム-日本語

井浦秀俊、北海道総合政策部交通政策局 交通企画課交通連携グループ: 「北海道における国内外クルーズの現状と今後の展望について」

中嶋一馬、商船三井客船株式会社: 「日本人が北方クルーズ観光に求めるもの〜飛んでクルーズ北海道」の経験から〜」

糸川雄介、シルバーシークルーズ: 「成長市場として注目を集める北極クルーズ」

伊東弘人、セントラルコンサルタント株式会社: 「北極クルーズ市場の現状と日本企業のビジネスチャンス」

ユハ・サウナワラ&田中雅人、北海道大学: 「日本顧客向け北極クルーズサーベイ」

17:35 最終討論

18:00 閉会の辞

(懇親会18:00-20:00、2000円)

Picture: Pexels/Jean-Christophe Andre

参加無料ですが、事前申し込みをお願いします。

極力11月20日までにお知らせください。

<https://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/news/22211/>



北極域研究
共同推進拠点

